

南北 600km これが私たちのキャンパスです。



国立大学法人鹿児島大学総務部広報センター  
〒890-8580 鹿児島市郡元 1-21-24  
電話 099-285-7035 FAX 099-285-3854  
E-mail: [sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp](mailto:sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp)  
URL: <https://www.kagoshima-u.ac.jp>

**NEWS RELEASE** (2018年1月31日)

## 学生制作による鹿児島県内の学生と企業人をつなぐ 情報誌『かごんまが人』制作のご案内

～学生目線での鹿児島と地元企業の魅力発信による地方創生プロジェクト～

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

鹿児島大学では、学生憲章の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことによって進取の精神を発揮するための支援制度「進取の精神チャレンジプログラム」を実施しています。

この度、この採択主体である学生団体「KAGO らぼ」（代表：法文学部3年 森下彩絵さん）が、鹿児島県内の社会人と学生とをつなぐための情報誌「かごんまが人」を制作しました。

この情報誌は、鹿児島の魅力の一つである「人」を通じて、鹿児島の良さを若者に知って欲しいという思いから、鹿児島の経営者や企業人を学生目線で探し、取材、記事作成、推敲などを行い、県内企業の協力をいただきながら、印刷、製本まですべて学生が行いました。データで見る鹿児島の良さや、企業人へのインタビューなど、様々な切り口による「かごんま」の魅力が詰まった渾身の作品です。

「かごんまが人」は、現在、大学内施設（ボランティアセンター、就職支援センター、産学官連携推進センターなど）や市内のカフェ等にて設置・配布中です。発行部数が少ないため、限定配布ですが、今後はTwitter（ユーザー名@kagolabo2016）やFacebook（ユーザー名@kagoyokapuro）等ネットでも閲覧できるよう配信していく予定ですので、冊子が入手出来ない場合には、インターネットでご覧いただけます。

鹿児島大学は、文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」において学卒者の地元定着促進に向けた取組を推進しており、その実働組織である産学官連携推進センターCOC+推進部門は、「KAGO らぼ」の取組について指導・助言をさせていただきました。

このような学生による主体的な取組の波及によって、より一層の地域の活性化につながるものと期待しております。なお、概要は別添資料をご覧ください。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

### （問い合わせ先）

鹿児島大学 産学官連携推進センターCOC+推進部門 TEL：099-285-6487  
学生支援コーディネーター 牧野 暁世 E-mail：[plus01@gm.kagoshima-u.ac.jp](mailto:plus01@gm.kagoshima-u.ac.jp)

文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

# 食と観光で世界を魅了する 「かごしま」の地元定着促進プログラム

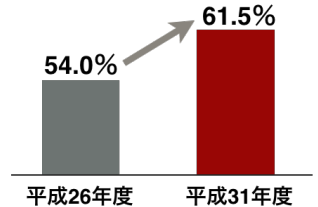


## 地方創生と「かごしまCOC+事業」

### (1) 事業の目的

- ① 地方創生の中心となる「ひと」が鹿児島で就業・定着することを支援します。
- ② 教育改革を推進し地元で活躍できる資質を備えた人材を養成します。
- ③ 既存雇用に加え新規事業創出による新たな就職先を創出します。

数値目標  
(地元就職率：参画校全体)



### 食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム概念図



### (2) 「オールかごしま」の推進体制

#### かがしま学卒者地元定着促進協議会

##### COC+大学 (1)

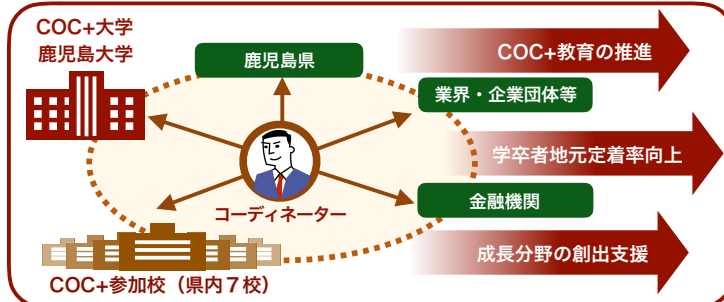
- ① 鹿児島大学 (H26年度COC採択校)

##### COC+参加校 (7)

- ② 鹿児島国際大学 (H27年度COC認定校)
- ③ 志学館大学
- ④ 第一工業大学
- ⑤ 鹿児島県立短期大学
- ⑥ 鹿児島女子短期大学
- ⑦ 鹿児島工業高等専門学校

##### 【役割】

- ① 地域の求める人材の育成
- ② 企業への学生就業能力提供
- ③ 共同研究や委託研究の推進
- ④ インターンシップ参加促進
- ⑤ 地元企業の魅力発信
- ⑥ 就業者へのリカレント教育
- ⑦ 成果発信と高校生への広報



##### 行政 (1)

鹿児島県

##### 【役割】

- ① 地方創生政策の情報共有
- ② 大学への地元企業情報提供
- ③ 県民意識の醸成 (地元就職)
- ④ 公設試との共同研究による技術商品の開発・販促支援
- ⑤ 企業の職場環境改善の促進

##### 金融機関 (1)

鹿児島銀行

##### 【役割】

- ① 事業拡大等へ支援
- ② 企業等動向の情報提供
- ③ 企業等に同じ

##### 企業等 (14)

- 鹿児島県工業技術センター
- 鹿児島県大隅加工技術研究会
- かがしま産業支援センター
- 鹿児島県観光連盟
- 鹿児島県工業倶楽部
- 鹿児島県農業協同組合中央会
- 鹿児島県森林組合連合会
- 鹿児島県漁業協同組合連合会
- 鹿児島経済同友会
- 鹿児島県商工会議所連合会
- 鹿児島県商工会連合会
- 鹿児島県中小企業団体中央会
- 鹿児島県社会福祉協議会
- 鹿児島TLO

##### 【役割】

- ① 既存事業の経営安定の確保
- ② 共同研究等による雇用確保
- ③ 学生就業機会の確保
- ④ 自社企業等の積極的な紹介
- ⑤ インターンシップ受入
- ⑥ 職場環境の改善
- ⑦ 採用枠の拡大

## mission 1 地域人材の育成

### 地元企業から大卒者に対して期待する人材像

#### 地元企業アンケートより

専門的知識に特化した人材より、総合職として様々なことがこなせる人材、マネジメント能力やコミュニケーション能力の高い人材

#### 修得すべき能力・資質

①学士力 ②地域マインド ③地域就業力

これらの能力や資質を磨くために、地域人材育成プログラムが提供され、修了すると「**修了証明書**」が発行されます。

### 地域人材育成プログラム（鹿児島大学の例）

#### ～かごしまキャリア教育プログラム～

地域キャリア修了演習② (3年次履修)	
就業力科目⑥ (2～3年次履修)	地域キャリア・インターンシップ② (3年次履修)
	地域キャリア・インターンシップ 事前演習② (3年次履修)
地域志向科目④ (1～3年次履修)	地域キャリアデザイン② (1年次履修)
大学と地域② (1年次履修)	

○付き数字はプログラム修了に必要な単位数を示す。

## mission 2 地元就職支援

学生側の思い込みの払拭

地元企業との接触機会の向上

魅力的な職場環境の創出

企業側のアピール力の向上

学生は、地元企業の情報に接する機会が少ない上に、「地元には自分の夢を実現できる企業が少ない」、「都会の方が豊かな生活が実現できる」という思い込みがあるようです。

学卒者の地元就職率の向上を図るためには、学卒者にとって魅力的な職場環境を創出するとともに、地元就業の魅力と地元企業について効果的な情報発信を図ることが重要です。

COC+事業では、学卒者の受入側と協力しながら、学生と企業の接触機会を高め、学生の持つ思い込みを払拭し、鹿児島でキャリア形成をしていくための支援をしています。

## mission 3 既存雇用の拡大と新規雇用の創出

### 学卒者の活躍の場を拡大

学卒者が卒業までに磨いてきた知識や技能を生かした活躍できる機会を積極的に作り出し、学卒者の成長を支援するとともに、その活躍に相応しい待遇の向上が求められます。

また、彼らの能力を活用して事業の拡大に繋げていくことが重要で、かごしまCOC+事業では、有力な新産業分野として食・健康とバイオマスイエナジー、観光と環境保全などの分野を中心に、新規事業の立ち上げを支援し、新たな就職先を創出していきます。

#### ☞ 農林畜産・水産業を活性化する食・健康とバイオ関連

- ・食の情報発信の高度化や「農畜産システム」のIT化推進
- ・機能性飼料（餌）
- ・農林畜産及び水産業の6次産業のIT化
- ・地域製品の販路拡大支援のための商談会の拡大
- ・薩摩鴨（黒鴨含む）の6次産業化
- ・高度分析のための試薬や分析機器の提案

#### ☞ 自然・歴史・文化・食を活かした観光と環境保全

- ・専用機器を使った新しい観光案内システム
- ・県外及びインバウンド宿泊者へ提供可能な情報の収集と統合
- ・観光のIT化
- ・ホテル事業及び運輸事業の拡大
- ・エコロジーへの対応や環境保全

県内企業アンケート調査（平成27年6月）の結果より

問合せ先 鹿児島大学産学官連携推進センターCOC+推進部門  
〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40

☎ : 099-285-6487

✉ : plus01@gm.kagoshima-u.ac.jp



KAGONMAGAJIN

2017  
Vo1.2

# かごんまが人



かごんまが人について

かごんまが人プロジェクトって？

データで見る！ かごんまのよかところ **魅力紹介**

スペシャリスト インタビュー

社会人お気に入りの場所